

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和6年4月18日(木)

2 調査対象 第6学年児童16名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回りました。
算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 友人関係に満足していますか。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

課題が見られた項目

- 普段、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。
- 普段、一日あたりどれくらいの時間携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。
- 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では「情報の扱い方に関する事項」「データの活用」「変化と関係」について課題が見られました。この結果を受けまして本校では今後、以下の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 国語科においては「原因と結果など情報と情報との関係について理解すること」「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」を単元構想の中で明確に位置づけながら指導にあたる。
- ・ 算数科においては「データの変化の規則性を読み取ること」また「比較するためには単位をそろえる必要があること」を自分の言葉で説明したり練習問題に取り組んだりしながら理解と定着を図っていくようにする。
- ・ 学校生活全般において随時、時事的な話題を取り上げることで社会情勢に対する意識を高めるとともに、新聞の「伝えたい情報を短く、そして分かりやすくまとめている工夫」について知ることで、自らの文章表現に活かせるような場を意図的に設定する。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
 - ・本校で配付している家庭学習の手引きを活用し、学年に見合った家庭学習時間の確保をするとともに、タブレット等を活用した学習方法・学習習慣の確立を図る。

- 読書について
 - ・学校司書と連携し多様な種類の本に接することで、自分が経験していない他者の経験を学ぶ取ることができる喜びを味わわせるようにする。また、親子読書週間を通して知識や論理的思考力、語彙力の発達や想像力、集中力、情緒面の成長を図る。

- 家庭・地域社会との連携
 - ・本校PTA行事と高平生涯学習センター主催の地域行事を共同開催とし子ども達に積極的に参加する機会を設定することで、豊かな体験活動の充実を図る。